

アメリカのNPO

全米最大の規模を持つNPO（非営利組織）であるAARP（全米退職者協会）は会員数約三三〇〇万人、約六〇〇〇万人いる五〇歳以上の人の約五〇％が会員であり、強大な力を持つ。アメリカの高齢者は全人口の約一四％と日本の一七％より低いが、最大のNPOが高齢者支援NPOであることは興味深い。AARPのボランティア・コンサルタントとして働くウイマラシリ・ヒロミさんに、同団体をはじめとするアメリカのNPOの現状や、行政の関わり合いについてリポートしてみる。

積極的な政策提言、研究活動も盛ん

二十世紀、先進諸国では高齢者数が急増し、高齢者の役割も重要となっている。A

全米最大のNPO/AARP >上<

AARPが三三〇〇万人もの会員数を維持しているのは、会員サービスの充実以外に、ボランティアの機会を提供し、コミュニティにおける社会貢献の役割を担っているからである。さらに、AARPは高齢者のための政策の充実へ向けて政府への積極的な政策提

年間収入は約五〇〇億円。本部の建物は、独自の郵便番号を持つ規模で、約一二〇〇人の職員が働いている。組織内には図書館、公共政策研究所などの研究機能をもっており、数十人の研究者が高齢者に関する研究に取り組んでいる。AARPは高

ニューヨーク州オフィスの特徴の一つは、国際部が活発な活動をしていることである。ニューヨーク市内には国連本部があるため、AARPは国連のNGO（非政府組織）委員会でも重要な役割を担っている。特に、毎年十月には世界各国の国連大使や専門家、アメリカの高齢者支援NPOやNGOが国連に集

まり、国際高齢者年のカンファレンスが開催される。AARPは主催団体であるため、二〇〇一年度の第十二回毎年九月はボランティアを動員してカンファレンスの準備に奔走する。国連NGO委員会のプログラムは、高齢化問題だけでなく、女性問題でも、入場を制限し、プログラムも縮小し、今月四日

会員3千300万人の大所帯

言も行っている。

AARPは、一九五八年アンドリュース博士によって設立された。アメリカの首都ワシントンDCに本部があり、全米に三三〇〇の支部をもっている。入会資格は五〇歳以上という要件のみ。

テロの影響は高齢者会議にも

AARPは地域のどの支部に行っても、通常、本部が決められた類似するサービスやプログラムが行われている。AARPニューヨーク州オフィ

スの活動も独特だ。ニューヨーク州にはAARPの会員が約二五〇万人いる。オフィスがあるのは、ニューヨーク市内マンハッタン地区ミッドタウンエリア。

AARPニューヨーク州オフィスの特徴の一つは、国際部が活発な活動をしていることである。ニューヨーク市内には国連本部があるため、AARPは国連のNGO（非政府組織）委員会でも重要な役割を担っている。特に、毎年十月には世界各国の国連大使や専門家、アメリカの高齢者支援NPOやNGOが国連に集



テロの影響で国際高齢者年カンファレンスも縮小開催された。

今月四日、マは、来年の社会形成についてだ。